

4. 火災の実態

1 火災の概要

平成30年中の火災は、出火件数1,924件、損害額3,266,907千円、死者数75人、建物焼損床面積38,710㎡、建物焼損表面積3,086㎡、林野焼損面積342a、焼損棟数1,426棟、り災世帯数804世帯、り災人員1,774人となった。前年と比較した火災の状況は次のとおりである。

なお、平成30年中の火災の発生を一日当たりで見ると、出火件数約5.3件、損害額約8,950千円、死者数約0.2人、建物焼損床面積約106.1㎡、建物焼損表面積約8.5㎡、林野焼損面積約0.9a、焼損棟数約3.9棟、り災世帯数約2.2世帯、り災人員約4.9人である。

区 分	平成30年 ①	平成29年 ②	対前年増減数 ③ = ① - ②	増減率 $\frac{③}{②} \times 100$ (%)
出火件数	1,924	1,998	-74	-3.7
建物火災	960	925	35	3.8
林野火災	86	95	-9	-9.5
車両火災	175	167	8	4.8
船舶火災	3	4	-1	-25
航空機火災	0	0	-	-
その他火災	700	807	-107	-13.3
焼損棟数	1,426	1,353	73	5.4
り災世帯数	804	779	25	3.2
り災人員(人)	1,774	1,708	66	3.9
焼損面積				
建物床面積(㎡)	38,710	44,623	5,913	13.3
建物表面積(㎡)	3,086	3,014	72	2.4
林野(a)	342	626	-284	-45.4
損害額(千円)	3,266,907	3,730,210	-463,303	-12.4
建物火災	2,795,972	3,454,338	-658,366	-19.1
林野火災	760	2026	-1266	-62.5
車両火災	140,528	116,731	23,797	20.4
船舶火災	603	683	-80	-11.7
航空機火災	0	0	-	-
その他火災	328,315	155,582	172,733	111.0
爆発火災	729	850	-121	-14.2
死者(人)	75	79	-4	-5.1
負傷者(人)	298	266	32	12.0

(注) ア 建物火災とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

イ 林野火災とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

ウ 車両火災とは、原動機によって運行することができる車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

- エ 船舶火災とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
- オ 航空機火災とは、航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
- カ その他の火災とは、アからオまでに掲げる火災以外の火災をいう。

2 出火件数

(1) 総出火件数は、1,924件で前年と比べて74件減少している。これを火災種別で見ると、次のとおりである。

種別 年	総出火件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
平成30年	1,924件 (100.0%)	960件 (49.9%)	86件 (4.5%)	175件 (9.1%)	3件 (0.2%)	0件 (0.0%)	700件 (36.4%)
平成29年	1,998件 (100.0%)	925件 (46.3%)	95件 (4.7%)	167件 (8.4%)	4件 (0.2%)	0件 (0.0%)	807件 (40.4%)

(2) 月別出火件数

月別出火件数は、次のとおりである。火災は、1月から4月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	195	221	213	191	144	102	160	188	95	153	125	137	1,924

(3) 出火率

出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、県平均 約3.06件となっている。

3 損害額

火災による損害額は3,266,907円で、前年比463,303千円（12.4%）減少した。また、1日当たりでは約8,950千円（前年約10,220千円）、1件当たりでは約1,698千円（前年約1,867千円）となっている。

4 出火原因

出火原因別火災発生件数は、次のとおりである。例年と比べ、たき火の件数が大きく増加している。

総出火件数	放火・放火の疑い	たばこ	こんろ	たき火	火遊び	その他
1,924件 (100.0%)	343件 (17.8%)	148件 (7.7%)	146件 (7.6%)	149件 (7.7%)	21件 (1.1%)	1117件 (58.1)

※その他には、上記以外の出火原因21区分及び不明・調査中を含む

5 死傷者の実態

(1) 死傷者数

火災による死者は75人、負傷者は298人で、前年と比べて死者は4人減少（前年比5.1%減）し、負傷者は32人増加（前年比12.0%増）した。

(2) 火災種別にみる死傷者数

火災種別ごとの死傷者発生状況は、次のとおりである。

火災種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
死者数	56 (74.7%)	0 (0.0%)	4 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (20.0%)	75 (100.0%)
負傷者数	237 (79.5%)	6 (2.0%)	19 (6.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	36 (12.1%)	298 (100.0%)

(3) 月別の死傷者数

月別死傷者数は、次のとおりである。死傷者は、12月から4月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
死者数	10	7	10	9	7	1	2	5	4	5	4	11	75
負傷者数	48	34	19	33	24	12	19	30	14	21	22	22	298

(4) 年齢層別の死者数

年齢層別死者数は次のとおりであり、61歳以上が全体の6割以上を占めている。

区分	0歳～ 20歳	21歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳 以上	不明	合計
死者数	4 5.3%	0 0.0%	2 2.7%	11 14.7%	11 14.7%	15 20.0%	31 41.3%	1 1.3%	75 100.0%

(5) 死因別死者数

死因別死者数は次のとおりであり、死者は、火傷で多く死亡している。

区分	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折等	自殺	その他・不明	合計
死者数	14 18.7%	16 21.3%	0 0.0%	15 20.0%	30 40.0%	75 100.0%